




## むらさき朝会「ろうかは右側を静かに歩こう」

本日3(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「ろうかは右側を静かに歩こう」です。私の方からは、次のような内容を話しました。

なぜ廊下は静かに右を歩かなければならないのか？それは「きまり(ルール)」だからです。きまりには「国のきまり(日本国憲法)、熊本県・市のきまり(条例等)など大きなきまりから、交通ルールや学校・学級の約束事、スポーツのルールなどたくさんあります。今年の「帯西っ子くらしのきまり」にも「廊下は静かに右側を歩きます」と書かれています。廊下を走ってはいけない本当の理由があります。それは「①走ると危ない ②授業の邪魔になる ③廊下はそもそも走るためにはつくられてはいない

④帯西っ子のプライドを試されている」の4つの理由です。①走ると危ないという理由に対しては私が経験したことがある子供の大げがについて話しました。②授業の邪魔になるという理由に対して、「廊下は音が響き、授業をしている学級や静かに過ごしている人に対して騒音になる」ということを話しました。③そもそも走るためにはつくられてはいないという理由に対して、廊下は基本的に2列同士がぶつからずすれ違うことができるような広さしかなく、移動のために設計されていることを話しました。④帯西っ子のプライドを試されているという理由に対しては、生活委員会が一生懸命に考えてくれた五七五「廊下はね 静かに右を 歩きます」に込められて意味を考えてもらいました。この五七五は、学校のみんなが安全に過ごせるようにするために、生活委員会が廊下を走っている人に対して、罰ではなく、気づき直しの機会を与えようとする思いやり溢れる合図なのです。私も「帯西はみんなのためにがんばってくれた誰かのことをバカにする学校ですか？仲間の願いを知らんぷりするみんなですか？」と問いかけると、モニター越しに首を横に振る子供たちが視界に入りました。帯西のプライドとは、『帯西っ子はみんなのことを考えることができる学校であること』『帯西っ子は、学校に誇りをもっていること』を確認しました。そして、きまり(ルール)は、『安心・安全のためにあること』『平和に暮らしていけるためにあること』『ルールを工夫して、生活をよりよくするためにあること』を伝えて、話を終えました。

10月の生活目標は、「廊下歩行」に関する目標ですが、子供たちにはもう一度これまでの「きまり(ルール)」について考えてもらい、今の生活を見つめ直すきっかけにして欲しいとお願いしました。

